

令和6（2024）年3月
第452号



大 湫 町



「丸森」雑飾り

今年は季節の進みが早く
2月下旬は「菜種梅雨」を感じさせる
雨が続きました
でも、「春雨じゃ、濡れていこう」

主な目次

- 「大湫町転入世帯交流のつどい」・・・1～3
- 青少年育成モデル地区「大湫町が実践報告」・・・4
- 北中学1年生の地域学習・・・5～6
- 「リニアの現場視察」・・・7～9
- 丸森だより・・・10
- 「おしらせ」・・・11

「大湫町転入世帯交流のつどい」

郷土料理を一緒に作って 食べよまい会

2024（令和6）年2月3日、「大湫町コミュニティ推進協議会」（以下「協議会」）により、転入世帯交流会が開かれました。「協議会」の組織の一つに「転入対策委員会」（棚橋和代委員長）があり、この委員会が中心となって、転入された方々と委員の交流を図ろうと開催。

町の施設「高砂ふれあいセンター」で「協議会」「転入対策委員会」の役員らが、郷土料理の「ごへだ」（五平餅）や鮎の塩焼き猪鍋を準備し、参加者を待ちました。集まった参加者は約40名。市長も参加。市長からは、「協議会」と「転入対策委員会」の日頃の空き屋・転入促進対策活動を高く評価する挨拶をいただきました。午前10時から午後4時まで、炭火で焼かれた五平餅や鮎をほおばりながら、委

員と転入者の互いの交流が進んでいきます。

「転入促進対策委員会」は、2014（平成26）年に立ち上げられた「まちづくり部会」の一つ。「空き屋対策・転入促進対策」に取り組み、地域の活性化につながる転入者を迎え入れてきました。

今回の交流会は、交流の場とともに住みよい町を目指す「委員会」の活動に活力を与える場、転入者の皆さんから力を与えられた場になったようです。



交流会での委員長挨拶

だいて、遠慮なく自然体で参加ができました。知っている方、初めての方、御名前だけで初めて対面の方、お会いできました。面高屋、柏屋さんの動向や、挑戦、ご努力も知りました。

そもそも私の移住計画は、馬籠宿近く中山道沿いの荒町で1ヶ月過ぎさせていただいたのが始まりでした。♪お富さん♪の曲が流れてくると食品を積んだ車へ買い物に出て、七面鳥が鳴いてサワギキョウ・ツリガネニンジンが咲いて、タヌキがスイカをかじって、野草定食で「今に体が青うなるで」とからかわれたり、サイダー瓶でソバを打ったり、いかそんな所を、と。今、中山道の宿場の只中に家があること。本当にびっくりする程の僥倖（ぎょうこう）です。未だ2居住で面倒をおかけするばかりの、またそれほど若くない私たちですが、それに適う何か、大湫に添えることができたらいいなと思います。

ご準備下さった方々に感謝。

転入者対策交流会に参加して

杉浦 英子

いろいろ端で、御幣餅作りに混ぜていた

大湫の熱量を感じた

秋山 仁恵

は大湫の特徴だなと感じました。今後ともよろしくお願い致します。

今回、会に参加して、改めて大湫の良さを感じられました。

我が家がこちらへ移ってきたのは8

年程前になりますが、家族が増えたり、仕事の内容が変わったりと

状況は少しずつ変化してい

ます。それでも、この土地

で共に暮らす方々に受け入

れて頂いて生活していける

事に感謝しています。

転入対策委員としては、

会議などにもなかなか参加

できず力不足で申し訳ない

と思っておりますが、これか

らの大湫を支える力に少し

でもなれたらと思っています。今回の会

の中でも力を合わせて五平餅をつくつ

たり、しし鍋を用意して下さいたり、皆

の力を合わせて作業している時の熱量

地域のつながりが大切

池戸 孝文

先日は楽しい会を催していただきあ

りがとうございました。施設

についてすぐ鮎に塩を塗る仕

事をいただき、お客様感覚

でしたので少し焦りまし

た。

近頃では、キャンプ・バ

ーベキューなどしませんの

で自分が魚に不慣れで匂い

も苦手だった事を思い知ら

されました。

参加された方、年代も幅広

く様々な縁で大湫町に移り住んでいら

っしゃって、私は縁に感謝はあれど、

大きな志などなく、少し肩身の狭い思

いです。

私のこの頃の気掛かりは、台所の床など修理を考えないといけない所が増え、あと、家

主さんの荷物

もまだ残って

いる事です。

空き家活用

に、家のかた

づけ大事です

ね。元日の能

登の大地震で

自分の家が太

丈夫なのかも

考えるように

なりました。

災害がある

と自分ひとりでは生きていけない事を

知らされるので、地域のつながりが大

切です。そんな思いもあり参加させて

いただきました。楽しかったで

す。

(次ページに続く)



囲炉裏でごへだを焼く



鮎の塩焼きは任せて



郷土料理はいかがでしたか

西区长 瀬瀬富久

初めてお目にかかる方、顔見知りの方々など多くの皆様方に参加していただき開催できましたこと誠にありがとうございます。ありがとうございました。

大湫町は、大湫宿開宿から420年ほど経過して現在に至っていますが、形は違っていてもこのような交流を通して、文化や伝統などが継承されてきたと思うと、感慨深いものがあり、こうした交流がとても大切であることを実感しました。

そして、何よりも目の前に出された料理です。まずは食文化の伝承からで、玄人はだしの方々が作る郷土料理はいかがでしたでしょうか。五



進行の手順を確認

平餅や鮎の塩焼き、そして猪鍋など、前日から準備したり仕込んだりしました。時々食する料理ですが、大勢で食べると会話が済み、今日は一段とおいしく感じました。

食事も一段落すると参加者の自己紹介です。どのような経緯で大湫町にいられたのか、普段思ってもいなかったエピソードに触れ、時間の経つのも忘れていました。これからも地域の仲間として、一緒に町内行事などに参加して絆を深めていただきたいと思います。

最後に、このような素晴らしい企画をされました転入対策委員会の皆様方に感謝申し上げます。



五平は、わらじ型

交流集会準備舞台裏

その1 ごへだの串

「串をどうする？ あれって、スギ材だわなあー。」こんな会話が合ったのは、1月14日の「どんど」の日。

「木曾まで買いにいかなばならんのかも」「家に切り倒したサワラの木がある。それを串にすればよいがね」

「だが、板になってないよなあー。どーしよう」

「難しいかもなあー」

「じゃあー、私がやってみようか」と、製材もできるTさん。立派な串ができた。これで、串問題が決着。

その2 市長の参加

「市長は同級生。つどいに参加できるかどうか聞いてみるわ」ホットラインのある、Jさんが市長に電話。

「・・・その日は、予定が入ってるが・・・まア、途中までなら、参加できるなあー」
こうして実現。

大湫町が実践報告

2月17日(土)瑞浪市総合文化センター講堂で、令和5(2023)年度第2回瑞浪市青少年育成市民会議が開催されました。大湫町が今年度の活動報告者。一か月以上前から、植村氏が準備。

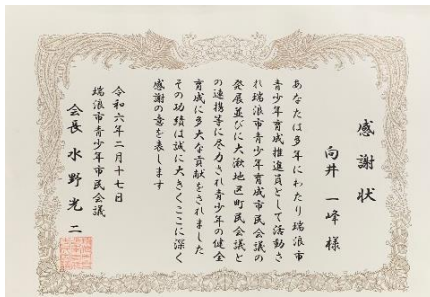
「町ぐるみで老若男女が生涯学習を追求できる環境づくりの推進」「歴史・文化・自然資源への理解と保全意識の涵養」を掲げ、「体育委員会」「集まろう会」「大湫若手チーム(ててて)」の活動や「中学生と語る会」の様子を瀬瀬富久・植村準両氏がパワーポイント利用して詳しく紹介。町



内ではよく知られているように、「パターゴルフ大会」「夏祭り」「年越しウォーキング」などの行事に、体育委員会は中心となっただけでなく、大いに盛り上げたこと。大湫若手チーム「ててて」が「茶摘み体験」「鱒つかみまくり大会」など多彩な催しを企画し、町内の子どもたちにも新たな体験を提供しました。いずれの活動もユニークで他地域にも影響を与えることになるかと評価されたのではないのでしょうか。

向井 一峰氏に感謝状

また、平成29(2018)年から令和5(2023)年まで「青少年育成推進委員」として3期6年の間、活動された向井一峰氏に感謝状が贈られました。



家庭菜園に役立つ3月の農作業



春本番を前に、家庭菜園の栽培計画はいかがでしょう。

「くての市」に出荷される町内の達人に話を聞いた。今回は、三浦順三さん。

今月の農作業は草むしりだね。この時期、雑草の根があまり張ってなく取りやすいから。

ジャガイモは今月20日頃に植え付け。その準備。苦土石灰をやや少なめに使う。あまりアルカリ性になると「そうか病」が出て、あのかさぶたのような病斑で見かけが悪いイモになるから。

タマネギは追肥を2月にした。元肥はたっぷりやるようにしてるから、追肥は少なめ。多いとトウ立ちするからね。

作物は正直だよ。手をかければそれに応えてくれる。やりがいがあるよ。

「地域学習 in 大湫」 ボランティアガイドの会が協力



2月6日(火)、寒い日でしたがよく晴れ、地域学習には絶好の日和。この日、大湫にやって来た瑞浪北中学校1年生は、108名。「中山道観光ボランティアの会」(玉置憲政会長ら)の皆さんが大湫の歴史、文化などについて説明しました。

この野外学習の様子と生徒の皆さんの感想・ボランティアガイドへの感謝が北中学のサイトに公開されました。

「大湫では、ボランティアガイド9名と、本当に多くの方にお世話になりました。地域(故郷)のために活動されている、中学生のために時間を割いてくださっているということに感謝です。」(北中学校公式サイトより)

2月22日、授業参観が予定されており、今回学んだことを発表します。

「発表の場が楽しみです。ボランティアガイドの方々をお招きして、自分たちの学びの成果を発表できるといいですね。発表の感想をいただけたら、交流とともに学びも深まります」と。(同公式サイトより)

地域学習の感想が公民館にも届きました。一部を紹介します。

☆私が特に印象に残ったことは、大杉です。私は釜戸に住んでいるので、大杉は何度も見たことがあります。今日改めて見て、大杉の迫力を感じました。倒れてしまったのはとても残念だったけれど、そこから協力して大杉を復元しようとする地域の人たちはすごいと思います

した。そして、しめ縄をまわして、文化を守り続けていこうという思いもすごいのと思いました。私も、大湫宿の文化を守るために行事などに参加したり、祭りなどを見に行ったりしたいです。

I・Hさん

☆今日の地域学習の中で、家のつくりが特に印象に残りました。虫籠窓や連子窓などの窓や、防火壁などの壁、越屋根(煙り出し)などの屋根があるなど、今の私たちが住んでいる家



観音堂にて

とは全然違うつくりでびっくりしました。それぞれのつくりには、工夫や意味があると知って、すごいと思いました。また、大杉に巻いてあるしめ縄も、大湫の方々でつくっているところに驚きました。地域のことを大切に想い、それを実際に行っているのも、縄の向きまで考えているところもすごいと思いました。今日の地域学習は、ボランティアガイドさんたちのお陰で、大湫のことをたくさん知ることができました。

A・Aさん



町並みの説明を受ける

詞が出てきます。その時は、あまり「中山道」が頭に出てきませんでしたが、しかし、今日のお話を聞いて、

中山道は、江戸から京都まで歩いて行く時に利用され、たくさんの人から愛されていた、とても素敵なものだったと知ることができました。一番印象に残っていることは、観音堂から見た景色です。大湫全体を眺めることができ、とても気持ちよかったです。当時は、3000人も観光客が来ていたと聞いて、当時の人の気持ちが変わりました。自分が住んでいる町に、こんなにくさんの歴史の詰まったものがあったんだなと感心しました。もっと更に誇りをもって、家族などに伝え、良さを広げていきます。

N・Yさん

☆大杉や山車、白山神社などの歴史ある



大杉モニュメントの前で

ものの特徴を初めて知りました。道が桁形になっていて所の工夫もとてもすごいと思いました。一つ一つの建物が大切に残されていて細かいところまでよく分かりました。家のつくりや道などのつくりが工夫されていて、昔の人の工夫や考え方はとてもすごいと思いました。今回たくさんのことを学ぶことができてとても楽しかったです。

O・Kさん

☆ぼくが印象に残っているのは神明大杉で、もう倒木してしまったけど、すごく大きくはく力があってすごかったです。ほかには、白山神社と神明神社とでは、鳥居の形がちがうところがとてもおもしろかったです。

G・Kさん



リニアの現場視察

奥村 敏郎

1月28日(日)足又公民館8時30分に集合し、2年前から要望していたリニア現場視察がようやく実現しました。

当初は足又区民だけの予定でしたが、数名の参加者だったので以前より西区の区長さんとリニアの話をしていました事もあり、参加にご協力して頂きました。

20名程で車に乗り合い、南垣外の施設までJR東海さんの先導の元、現場に向かいました。ヘルメットを着用し、視察。ヤードに入り、その内で全体説明。所々で質問、説明を受け高台まで上がり、あつという間の1時間でしたが、思ったよりこの場所は小



空気抵抗を考えた先頭車両

さく感じられました。本抗視察は、残念ながら出来なかつたのですが、工事はまだ数年かかるので又、機会があれば要望を出したいと考えています。

日吉トンネル 南垣外工区見学会に参加して

西区長 瀬瀬富久

今年の冬ごろだったかと思うが、夜ふと目が覚めると遠くで雷鳴のような音が聞こえていたことがありました。冬に雷とは、と思いつながらそんなことが数回あり、よく考えるとこれはリニア中央新幹線のトンネル工事の発破だと感じました。夏ごろからは、静かに家で過ごしていると「ドーン、ドドドーン」と音が聞こ

中央新幹線 (通称リニア新幹線)

路線距離 (実キロ) : 285.6Km

駅数 (東京～名古屋) : 6 駅

電化区間 : 全線電化 (交流 33,000V)

構造種別延長割合

路盤 : 4.1Km (2%)

橋梁 : 11.3Km (4%)

高架橋 : 23.6Km (8%)

トンネル : 246.6Km (86%)

消費エネルギー比較

リニア : 90~100Wh/座席・Km

新幹線 (のぞみ) : 29Wh/座席・Km

(一人の客を運ぶのに「リニア」は「のぞみ」に比べ約3倍の電気エネルギーが必要)

車両定員 : 先頭 24名 中間 60名

車両幅 : 2.9m (座席数4) (比較) ひかり : 3.4m

車両編成数 : 16 両編成

(Wikipedia・JR東海サイト より)

えるようになりました。そうした中で、奥村足又区長から「南垣外工区の見学に、余裕があるから西区の方にもどうか」という連絡でした。見学日まであまり時間がなかつたのと、参加者が限られていたので西区全員に連絡がでなかつたことは残念です。それで、JRの担当者に北・西区で同様の

見学を企画するように依頼しました。

日吉トンネルの本坑（本線トンネル）の見学は、以前に西区総会でJRの説明時に区民が要望しましたが、それはできないと断られていたので、本坑までの斜坑（非常口）が見学できるのか半信半疑で参加しました。しかしそれも叶わず、ヤード内の見学と説明、そして斜坑の前で参加者全員の記念撮影となりました。しかし、実際に掘り出された地下140mの岩盤を手にとって見ると、壮大な工事に少しは触れたようで意義のある見学となりました。

「中央新幹線」 工事の地元説明

長谷川 明

中央新幹線の工事が始まり、2021（令和3）年頃には大湫町（足又区）内でも工事の振動や音が体感されるようになりました。

「どこかで花火かな？」「違う、なに

かなあー、遠くの雷の音かも」と思われるような音がリニア工事を実感する始まりでした。

この中央新幹線（通称・リニア中央新幹線）は、東京都港区（起点）から名古屋市（終点）までの約300kmを磁石の力で浮いて走る「超伝導磁気浮上方式」の乗り物。最高時速が505km。東京、名古屋間の86%にあたる247kmほどをトンネル内走行（[Wikipedia](#)）。

この工事が大湫町の地下に近づくにつれ、音や振動がわかるようになってきたのです。

2021（令和3）年3月、足又区の総会で路線図や工事概要について、JR東海から説明がありました。奥村区長の働きかけによるものです。以後、総会のたびにJR側の出席があり、進捗状況や住民からの質問・要望を聞く場となりました。JR側の誠実な対応です。

高さ8m、幅13mのトンネルを掘る作業（JR足又区説明資料より）は、日吉町側から進められ、一日4回の発

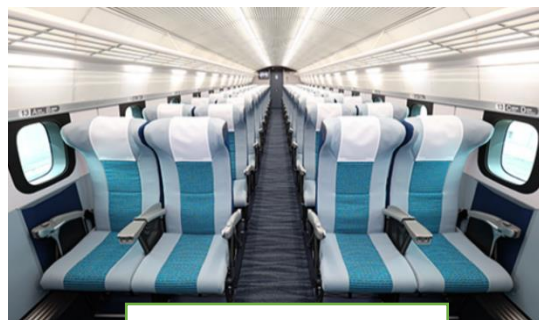
破。夜の発破は20時頃、夜中は0時頃から2時頃。

区総会で
は、JR側に
「夜中の発破
は中止を」「掘
削により排出
された土壌に
有害物質はな
いのか」「水路
（みずみち）
が変わること
で井戸水が出
なくなりはないか」との要望や疑問
が噴出。

掘削工事に伴う振動や音は足又に近づくにつれ大きくなりましたが、JR側は「基準値デシベル以下」「基準をクリアしている」などの返答に終始。

ある時、「JRさん。自宅に泊まってもらってよいから体感して」とAさん。

この頃、「ダッダ、ダッダ」との音。目が覚めることもあったのです。これを



在来線と同じ4座席

介護予防教室

「元気はつらつ塾」

参加者募集

みんなと一緒に、頭と体を動かして認知症予防！いつまでも健やかに過ごしていける体を目指してトレーニングしませんか。どなたでも安心して参加できる体操教室です。

◆実施日 4/15・5/20・6/3・7/1・9/2・10/7・11/18・12/2・1/6・2/3・3/3 計11回コース（いずれも月曜日）

◆時間

13時30分～14時30分

◆場所 釜戸コミュニティセンター 多目的ホール

◆対象 65歳以上の方で、大湫町・釜戸町にお住まいの方（北部圏域の方も可）

◆定員 20名（予約制）

◆内容 作業療法士と運動インストラクターによる頭と体を使った楽しくできる運動

◆参加費 無料

◆持ち物 運動のできる服装、飲み物（水分補給用）

*運動の可否について主治医にご相談ください。

*事前に下記までお申込みください。（定員になり次第締め切ります。）

◎予約・問い合わせ

瑞浪北部地域包括支援センター

☎63-1015

契機に、真夜中の発破が中止されることになりました。

たまたま中津川工区で事故があり、工事が一時ストップしたことも影響したのででしょうか。

こうした経緯の中で「基準値以下だから問題はない」とする姿勢をとっていたJR側も、「住民の反対がある内は深夜の爆破は中止」。

影響を受ける側が少ないと、多勢に無勢となり、無視されたり押し切られたりしてしまいかねません。

しかし区総会の場でのJR側の説明と要望への対応は、真摯な姿勢で、少数

側を一方的に無視する姿勢にはなりませんでした。区総会の役割が発揮されたと思われます。

「火薬の量を減らすから深夜も工事をやらせてほしい」とのJR側の要望も根強く、「日にちを決めて試験的に夜中の発破をやって、その結果をアンケートで回答を寄せてほしい」とする譲歩となりました。

こうした区総会の話し合いの中で、「工事現場を見学させてほしい」との要望もあり、現場視察が実現することになったのです。

工事区域が足又区から離れていくと

ともに音もほとんど気にならなくなりました。しかし、まだ「あつ、爆破」とわかることもあります。

総会の場で「大深度といえ、トンネルの掘削が与える影響は、後々現れることも考えられるので、話し合いのパイプは継続してほしい」「運行が開始された後の電磁波の影響も、今はわからない。音の速さを超えるスピードで空気の壁に衝突する際の音は問題ないのか。やはり、これからも話し合いを」との要望を受け止めてもらいたいと思います。



2024(令和6)年3月

丸森だより

丸森：
旧森川訓行家住宅
国登録有形文化財
瑞浪市観光案内所

□丸森の企画□

『3月』・2月4日から4月3日(水)の桃の節句までお雛様の展示をおこなっています。

・3月3日(日)の「ひな祭り」には、お雛様を見ながら、あったかーいぜんざいを食べませんか。丸森ではぜんざいを用意して皆様の来館をお待ちしております(10:00~15:00)。ただし、なくなり次第終了といたしますので悪しからず。

□こんなことが□

・2月6日(火)瑞浪北中学1年生108名の生徒さんが、大湫宿見学に来宿されました。ボランティアガイドさんの説明に耳を傾け、熱心にメモなどを取っていました。やや緊張した学生服姿の生徒さんと触れ合い私たちも身の引き締まる思いでした。

・2月14日(水)バレンタインデー。“チョコレート”プレゼントを用意して来館者をお待ちしていました。先着20名様のごプレゼントも好評のうちになりました。

【来場者数】

	町外		町内		合計	(内) 外国関係
	大人	幼小中高	大人	幼小中高		
1月度	130人	5人	63人	4人	202人	18人
2/20日迄	169人	128人	51人	7人	355人	1人
	R5,4月~	6,714人	オープン~	53,933人	前年同月比	117%



鮮やかな段飾りと吊し雛










ウオー、昔の家だ



バレンタインデーです。チョコをどうぞ



大湫公民館・大湫町コミュニティ推進協議会からのお知らせ

	<p>リ・アップ “ひよも” 《3月のひよもの活動》 おひな祭り 『胡弓演奏』の鑑賞 日 時：3月6日（水）10:00～11:30（予定） 場 所：大湫公民館 講堂</p>
	<p>集まろう会 大湫太鼓 練習は3月16日（土）9:30～ 新曲の“ルパン”などの練習を始めます。</p>
	<p>オススメ!! 大湫分室の本 『ハーブの癒し』 翔泳社/出版 ハーブを上手に暮らしに取り入れることで、忙しい毎日が少し 潤い、楽しい気分で過ごせるかもしれません。 1月の大湫分室 貸出人数：8人 貸出冊数：12冊</p>
	<p>デマンド交通 1月利用者(大湫～日吉東部) 23便 延 38名 (稼働率20.2%)</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: #fff9c4; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 20px;"> 皆さん、たくさん利用して下さい。 </div>
	<p>『うつわの大中小展』 大きさから、やきものを解剖する 日時：3月16日(土)～5月26日(日) 場所：岐阜県現代陶芸美術館 ギャラリーⅠ 上記の招待券あります。1枚2名まで入場が出来ます。公民館までどうぞ</p>
	<p>青色回転灯防犯パトロール 3月のパトロール予定者 上旬：須山 秀樹・棚橋 雅美 下旬：三輪 正夫・松浦 大哲</p>
	<p>大湫宿お休み処 12月～3月までお休みします。 古民家カフェ橘 3月上旬までお休みします。</p>
<p style="text-align: center;">投稿者・読者の皆さまへ</p> <p>日頃は広報「大湫」のご愛読と投稿をありがとうございます。 投稿文は紙面の都合により全文を掲載できないことがあります。ご了承ください。見出し付けや文意を変えない一部変更、省略をさせていただくことがあります。ご理解ください。 ☆毎号の表紙写真を募集しています。ご協力をお願いします。 今後とも広報「大湫」のご愛読をお願いします。 「大湫」編集委員会</p>	

会長日記

二日の定例区長・幹事会ではカタノピッグファームの異臭問題についてカタノと市の同席のもと対策について説明を受けました。脱臭フィルタの交換管理が充分出来ておらず、今後管理の徹底とフィルタの性能維持をお願いしました。併せて今回工場内の視察を行うこととしました。

三日には転入対策委員会の主催で移住者・定住者の交流会を実施しました。ここ十年の間に多くの方たちが大湫に来て住んでくれています。大湫が存続する為にはどんな人が大湫に来てくれることだと思います。大湫に住んでみたい人・いい空き家・土地等情報が有ればコミュニティーまで連絡を下さい。

十日には面高屋の賃貸契約を京都の辻中さんと結びました。四月以降改装工事を行い、完了後には簡易宿泊所を経営されます。大湫に宿泊施設が出来ると観光客の方が増えるのではと期待しています。

十七日は第二回瑞浪市青少年育成市民会議が開催され今年モデル地区の為、実践報告をさせて頂きました。

市内の多くの方に大湫の活動を聞いていただけました。

二十七日は地域づくりの発表会が有り、今後十年間で自分の地域をどうするかを瑞浪全地区が発表しました。

大湫は三年前に作った「大湫町ミライ総合振興計画」のダイジェスト版を発表しました。このダイジェスト版を三月中に全戸配布致しますので御一読下さい。 加藤

2月2日 定例区長会・幹事会

3日 転入者・移住者交流会（転入対策委員会）

10日 面高屋賃貸契約取り交わし（京都 辻中氏）

17日 第二回青少年育成市民会議（モデル地区発表）

27日 地域づくり発表会

29日 丸森研修旅行（日帰りー豊川御油宿）

令和六（2024）年三月行事予定

29	28	26	25	24	23	20	17	12	10	8	6	4	3	1	日	
金	木	火	月	日	土	水	日	火	日	金	水	月	日	金	曜	
大湫長寿会総会	広報委員会	幼・小・中終業式	釜戸小学校卒業証書授与式	モニタリング開始	彼岸明け	祝日 春分の日	彼岸入り 祈年祭並びに雄白稻荷神社初午例祭	交通安全大学校閉講式（釜小）	春季奉仕作業	北中学校卒業証書授与式	公民館・丸森運営委員会	確定申告（大湫コミ会場）	財産区全員協議会	ひなまつり 春季火災予防運動 神田初午例祭	区長会幹事会	予 定
不燃ゴミ：3/7（木） 資源ゴミ：3/19（火）																

春季全国火災予防週間・全国山火事予防運動(1日～7日)

春は、火災の多い時期です。住宅火災だけでなく、山林火災も増加します。「山火事のほとんどは、人間の不注意によって起きる」。減少傾向にあるが、平均では年1300件ほど発生し、7割が1月～5月に発生（林野庁）。なかでも発生が多いのは3、4月。春は山に入る機会が多くなります。一層の注意に心がけましょう。

編集後記

一年は早いもので、もう令和5年度もひと月足らずで新年度となつてしまします。

今年度の締め括りと、新年度に向けての計画とでめまぐるしい月が始まりました。

D・M



訂正とお詫び

2月号表紙記載の「3日は立春」は正しくは「4日は立春」です。訂正し、お詫びいたします。

編集発行：大湫町コミュニティ推進協議会 広報委員会
 2024（令和6）年3月1日 瑞浪市大湫町 4221-1 ☎0572-63-2360
<http://okute-shuku.jp>

表紙写真
長谷川 明